

いちばんづくり課 地域おこし協力隊員が庄原市をPR 第2回全国ふるさと甲子園に出席

行きたいまちナンバーワンを決める「第2回ふるさと甲子園」が8月27日、東京都の秋葉原にあるアキバ・スクエアで開催され、庄原市が初出場しました。

このイベントは①映画やドラマのロケ地、またはそのストーリーの舞台となっている②ご当地グルメがある③ゆるキャラがいる④といった条件を満たす地域がエントリーできるもので、全国の応募の中から選ばれた55地域が出展しました。

当日は2113人が来場。ご当地グルメや舞台設定などのPR合戦のほか、公式サポーターのアイドルグループ「仮面女子」によるステージパフォーマンスが行われるなど、終始会場は沸いていました。庄原市からは、地域おこし協力隊員ら7人が参加し、アニメ「君のいる町」や映画「いとしのヒナゴン」の実績紹介、特産品の販売を通じて、庄原市をPR。残念ながら入賞は逃しましたが、広島県唯一の出展団体として印象付けました。

地域おこし協力隊員の日置大輔さんは「他地域のPRの仕方や売り場作りなどが大変参考になった。今回の経験を市の活性化につなげていきたい」と話していました。



来場者に庄原産品をPR

いちばんづくり課 地域を変えていく新しい力に期待！ 2人の地域おこし協力隊員を委嘱

市は9月1日付けで、新たな庄原市地域おこし協力隊員に白井拓哉さん（神奈川県海老名市）、佐々木宏知さん（広島県安芸郡府中町）を任命しました。

辞令を受けた白井さんはいちばんづくり課に配属され、比婆いざなみ街道物語の推進に取り組みます。また、佐々木さんは東城支所産業建設室に配属され、農産物や加工品など地元産品の現状を分析するための市場調査などを行います。

地域おこし協力隊は、都市部に住む方が一定期間地方に移り住み、地域おこし活動を行いながらその地域への定住を目指す国の制度です。活動期間は平成28年度末まで（最長で平成31年度末日まで更新）で、それぞれの活動に従事しながら、地域の活性化に取り組んでいきます。

木山耕三市長は2人に委嘱状を手渡し、「早く地域に溶け込んで、新たな視点と、これまで培ってきた知識や経験を發揮し、ミッションに取り組んでほしい」と激励し、大きな期待を寄せました。

両隊員はこれから地域に向いて活動します。慣れない地域での活動となりまので、地域のみなさんのご支援をお願いします。



木山耕三市長から任用を受ける白井さん(中)と佐々木さん(右)

商工観光課 東城町で働こう！ 庄原市合同就職面接会 in 東城



熱心に面接を受ける参加者

8月20日、庄原市役所東城支所で三次公共職業安定所庄原出張所（ハローワーク庄原）と庄原市が「庄原市合同就職面接会 in 東城」を開催しました。

庄原市の人手不足解消につなげようと、平成19年以来9年ぶりに東城町で面接会を企画し、東城町で求人を行う企業など11社と、東城町で働きたい求職者約14人が参加しました。

面接会では、参加者が各企業のブースを巡りながら、求人企業の担当者から、熱心に企業説明を受けました。

市では、この面接会を今後も継続して行き、市内の就職促進や定住者の増大につなげていきたいと考えています。

いちばんづくり課 出会いイベントで21カップル誕生 しょうばら縁結び事業



パーティー会場の様子/8.28



比婆牛パーベキューの様子/9.11

しょうばら縁結び事業で初となるイベント「しょうばら花火大会で縁結び」を8月28日、庄原グラウンドホテルなどで開催し、1000人を超える申し込みの中から抽選で選ばれた、20代〜40代の男女各20人、計40人が参加しました。

最初に、庄原グラウンドホテルを会場にしたパーティーでは、全員が浴衣に着替え、わくわく未来企画代表の宇佐うさこさん進行のもと立食形式でスタート。DJの音楽に合わせた細やかな演出で参加者を盛り上げました。

その後、参加者は上野池そばの湖畔亭へ移動し、上野池を眼下に望みながらミニゲームやフリータイムを楽しみました。午後7時30分には待望の花火がスタートし、最高の雰囲気の中、次々と打ち上がる光と音を満喫。このイベントを通じて6組のカップルが誕生しました。

また、9月11日には広島県とのコラボレーションイベント「このわ×しょうばら縁結び in 国営備北丘陵公園」を開催し、男性54人と女性34人、合わせて88人が参加しました。

公園内にある湖畔レストハウスをメイン会場に、比婆牛のパーベキューや庄原市内のスイーツを集めた大試食会など、庄原の魅力もPRしながら出会いを演出。庄原市ふるさと大使の西田篤史さんとローカルタレントの松本裕見子さんが、おせっかい役として盛り上げました。最終マッチングでは当初の予想を上回る15組が成立し、会場が沸きました。

しょうばら縁結び事業は、今後もし出会いの場を提供し、男女の縁を結ぶ支援をしていきます。

教育指導課 世界人「林英哲」さんに学ぶ 東城小学校4年生 総合的な学習の時間



林さんが児童に見本を見せる



隊形を変え児童の様子を見ながら指導

9月14日・15日、東城町出身で世界的な和太鼓奏者の林英哲さんにより、東城小学校4年生の児童33人に対して和太鼓の指導が行われました。

東城小学校では、毎年4年生が「総合的な学習の時間」で和太鼓の学習・演奏などに取り組んでいます。本年度、児童は「なぜ東城小学校で毎年和太鼓に取り組んでいるのか」という疑問を持ち、調べていくうちに、東城小学校の卒業生でもある林さんが17年前に和太鼓の魅力を教えるに来てくれたことがきっかけであることを知りました。さらに詳しく調べていくうちに、林さんの生き方や和太鼓に対する熱い思いに触れ、尊敬の念を持つようになりました。その児童の思いを知った「林英哲ふるさと友の会」の尽力により、林さんの訪問・指導が実現しました。

児童は、林さんが阪神大震災の復興イベントの時に作曲した「千の海響」という曲の指導を受けました。放課後練習にも全員が参加し、児童は貴重な経験をしました。今後も林さんから継続的に指導を受け、和太鼓を通して大切な事を学んでいきます。